

こんな事例がありました

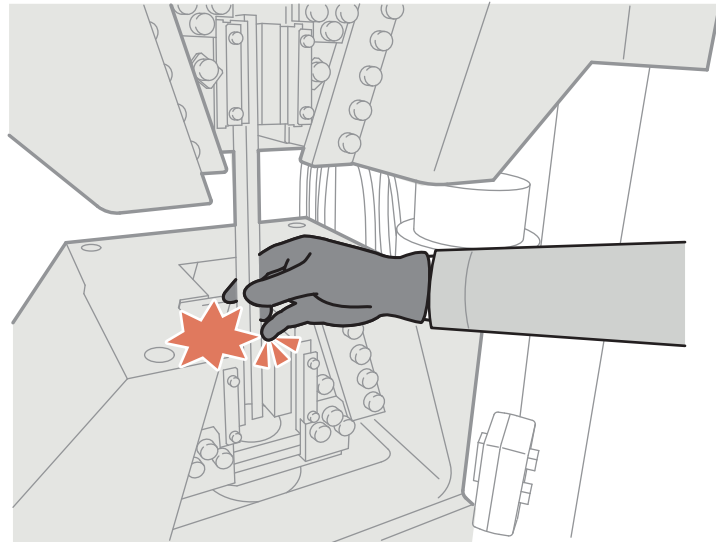
1 試験片つかみ具による指の挟みこみ

試験片をつかみ具に取り付けるときに、つかみ歯移動範囲に手を入れたまま、つかみ具の開閉スイッチを押したため、試験片とつかみ歯の間に小指を挟んでけがをした。

※チャックを操作するときは、つかみ歯移動範囲に手を入れない。

試験片をつかむときは、試験片保持治具を使用してください。

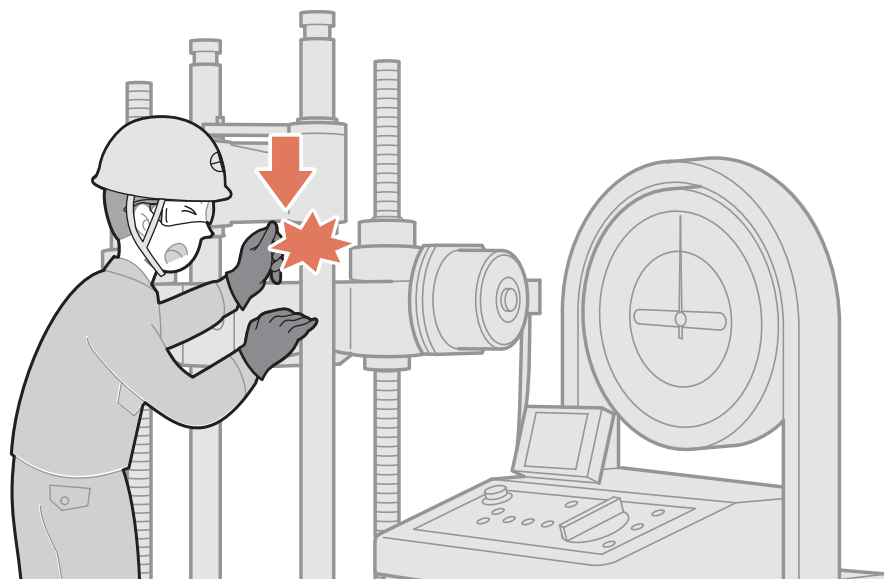
直接手で保持しないでください。



2 上部クロスヘッド落下による打撲

試験片をセットし直そうとしてチャック開閉ハンドルを回したが、外れなかったため、クロスヘッドの昇降を繰り返して外そうとした。下部クロスヘッドを昇降していたため、試験片を通して、上部クロスヘッドを突き上げた状態になっていた（ラムが真空状態）。その後、左手で試験片を持ちながら、揺らしていたところ、試験片が外れ、その瞬間、上部クロスヘッドが落下して上下クロスヘッドの間に左手が挟まれた。

※試験片を外す前にクロスヘッドの昇降は行わない。



問い合わせ先 装置に貼ってある連絡先シールをご覧ください。

SHIMADZU

万能／圧縮／ねじり試験機

安全にお使いいただくために

万能／圧縮／ねじり試験機は素材や製品の機械的強度特性を測定するための試験装置です。

試験には常に危険が伴うことを強く意識し、安全に対する心構えを身につける必要があります。

操作者は必ず取扱説明書を熟読し、正しくお使いください。

また、操作方法について教育を受けた方だけがお使いいただくようお願いします。

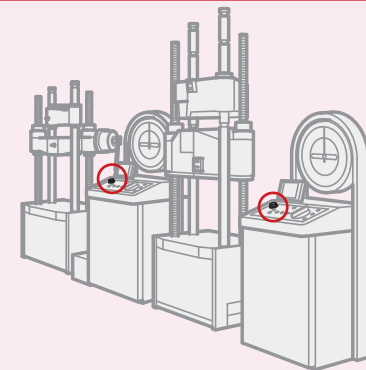
試験機の安全な使用方法について下記HPで紹介しています。是非ご覧ください。
https://www.an.shimadzu.co.jp/test/support/faq/safe/test_safe.htm



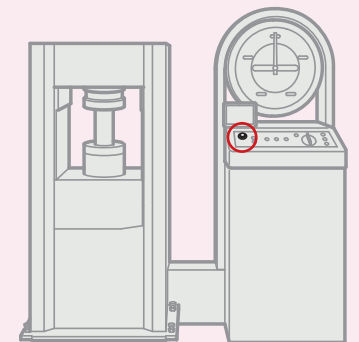
試験機を安全に正しく
お使いいただくために

● 装置の種類

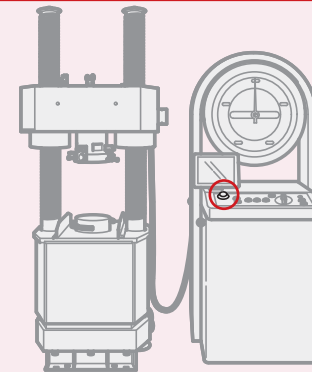
UH-X/FX シリーズ



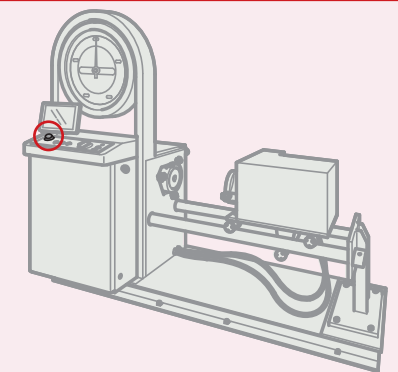
CONCRETO X シリーズ



CCH-X シリーズ



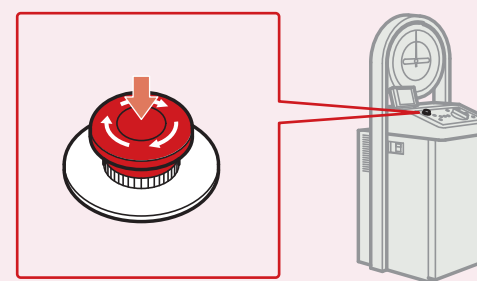
TTM-X シリーズ



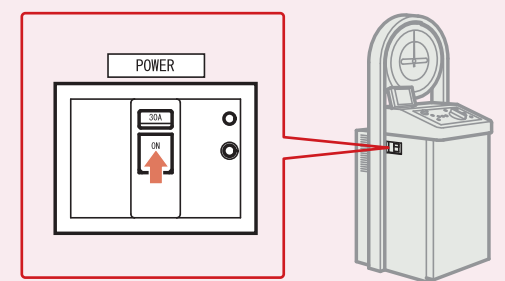
● 緊急時（停電時）の停止操作

設定の誤りなどによって、試験中にテーブル、クロスヘッドが誤動作したとき、または準備中に異常な動作をしたときは、迷わず非常停止スイッチを押し、電源スイッチをOFFにしてください。

1 制御装置の非常停止スイッチを押す



2 制御装置の電源スイッチをOFFにする



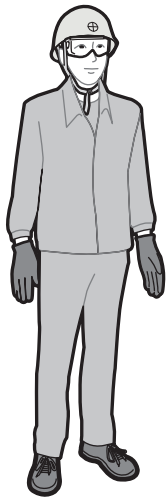
ふたたび使用するときは、装置を点検し、必要に応じてサービス員に連絡してください。

ここに注意

試験準備

●保護具の着用

試験時また治具交換などは保護具（ヘルメットまたは帽子、手袋、保護メガネ、安全靴）を着用してください。
けがをするおそれがあります。



*安全保護具のご使用につきましては、お客様の安全ルールをご優先ください。

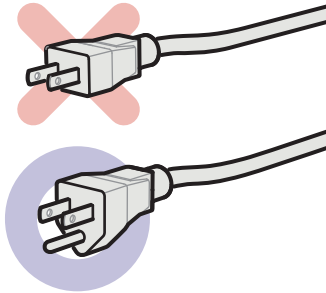
●試験装置および試験片の取り扱い

試験片の着脱、試験装置の取り付け・取り外し作業、これに伴う負荷本体の操作には十分注意してください。
けがをするおそれがあります。



●接地端子

電源ケーブルの接地端子は必ず接地（100Ω以下）してください。
感電のおそれがあります。



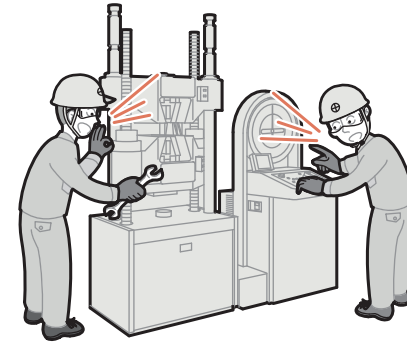
●作業台の使用

高い位置で作業するときは、強固で安定した作業台を準備してください。
不安定な作業台で作業すると、傾いたり、転倒したりしてけがをするおそれがあります。



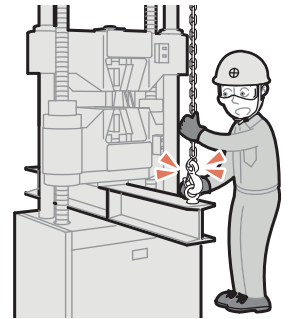
●作業の安全確認

2人以上の複数の人員で試験機を操作するときは、お互いに確認しあい、確実に連携して安全に作業してください。
けがをするおそれがあります。



●重量物の取り扱い

試験装置が重量物の場合、取り付け・取り外しの作業には必ずチェーンブロックを使用してください。
安全面に配慮しないと、転倒などにより重大な事故を引き起こすおそれがあります。



試験中

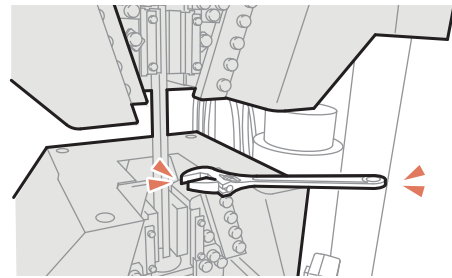
●試験空間

クロスヘッドの稼動中は、試験空間に手や頭を入れるなど、体の一部を入れないでください。
死亡、重度の障害、または物的な損傷などを引き起こすおそれがあります。



●治具・工具の落下

・試験中は、クロスヘッドなど高い位置に工具類を置かないでください。
・つかみ歯を交換するために、取り外したつかみ歯ホルダやライナは、落下のおそれがない低い場所においてから作業してください。
治具や工具が落下して、けがをしったり装置が損傷するおそれがあります。



●試験片

試験片の種類によって破片が飛散する場合は、保護カバーを準備してください。
試験片の破片が飛散して人体に刺さったり、ぶつかりたりして、死亡または重傷にいたるおそれがあります。



●制御装置

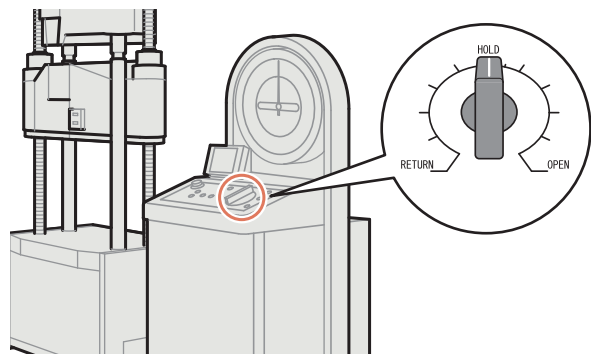
本体制御装置のカバーは開けないでください。
高電圧部分があるため、感電のおそれがあります。



保守

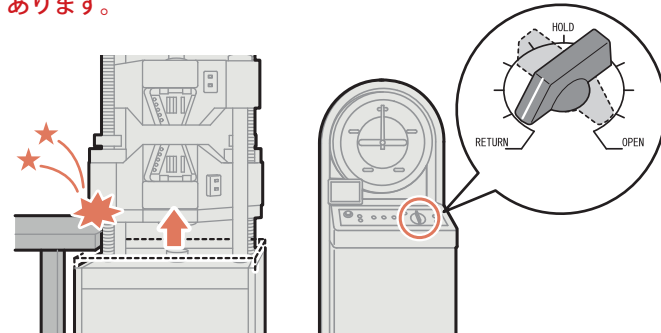
●負荷制御つまみ

自動制御中は負荷制御つまみを「HOLD」の位置から動かさないでください。
動かすと、試験機が誤動作して、けがをするおそれがあります。



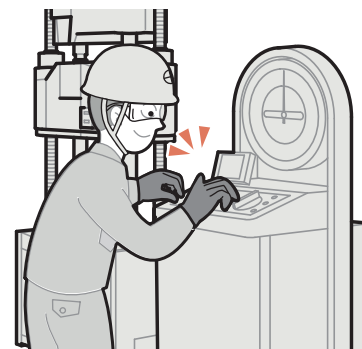
●装置周辺

手動制御モードで、負荷制御つまみが「OPEN-RETURN」になっているときは、テーブルおよび上部クロスヘッドが昇降します。衝突防止のために動作範囲内から障害物を取り除いてください。
取り除かないと、装置が障害物にぶつかり損傷するおそれがあります。



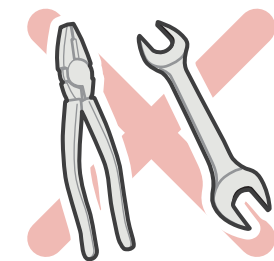
●試験条件の確認

自動制御試験のスタート前には、必ずモニタ画面で試験条件が正しく設定されていることを確認してください。
正しい設定をしていないと、試験機が誤動作してけがをするおそれがあります。



●改造禁止

本体および付属品を改造しないでください。
重大な事故を引き起こすおそれがあります。



●専用工具の使用

治具交換などは必ず専用工具を使用してください。
けがをするおそれがあります。

